

～下記の研究を行います～

『課題名 悪性脳腫瘍患者の QOL・うつ病自己評価尺度 と臨床像の相関に関する研究』

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】 悪性脳腫瘍患者の QOL・うつ病自己評価尺度と臨床像の相関に関する研究

【研究責任者】 藤中俊之

【研究の目的】 QOL スコア・うつ病スコアを評価し、病気の病態や治療の問題点、予後因子などを QOL・うつ病の観点から明らかにすることで今後の治療に役立て、臨床試験への応用を検討していく。

【研究の期間】 研究許可日～2025年3月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2015年1月1日～2025年3月31日までに当センターで悪性脳腫瘍と診断され、治療を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

①患者基本情報：性別、年齢など

②疾患情報：自己記入式の QOL 調査 (EORTC QLQ-C30/BN-20)・うつ病自己評価尺度 (つらさと指標の寒暖計)・病理診断・経過・神経所見・認知機能テスト結果・術前／術後／経過観察中の MRI/CT/PET の画像情報・遺伝子発現結果など

【研究の資金源】 エーザイ株式会社

【利益相反】

臨床研究における利益相反 (COI (シ-オーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。本研究は、エーザイ株式会社より資金提供を受けておりますが、利益相反については当院の利益相反審査委員会で適切に管理されています。研究内容は、特定の団体・企業の薬剤、商品を対象としておらず、研究内容に影響しないと考えられます。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

◎試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

い。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター 脳神経外科
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

研究責任者 脳神経外科 (職名) 科長 (氏 名) 藤中俊之